

沼田市立薄根小学校経営要覧

1 経営の基本的事項

(1) 学育 校目 教標	《基本目標》「進んで学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成」 ○ 進んで学ぶ子（自主、創造、根気） ○ 思いやりのある子（正義感、奉仕、博愛） ○ 体をきたえる子（健康、安全、体力）		
(2) 学校 経営 の方針	【目指す学校像】 ①児童が明日も行きたいと思う学校 ・勉強が分かる・認められている ②保護者が信頼する学校 ・我が子が生き生きとしている ③教職員にとって魅力ある学校 基礎 <b>喜びを分かち合える児童と教師</b>	【目指す児童像】 <b>う</b> うれしい言葉「ありがとう」 <b>す</b> すてきな笑顔で毎日あいさつ <b>ね</b> 粘り強く努力する 薄根の子	【目指す教師像】 ①児童のよさを見逃さない教師 ②温かい笑顔の教師 ③チーム力を意識する教師 ④授業改善に努力する教師 基礎 <b>自立した行動とそのための自律</b>
(3) 今年 度 の 努力 点	①「進んで学ぶ子」の育成(学校評価：評価対象Ⅱ「確かな学力」) ○積極的な授業改善 ・めあてに対する見通しを持たせ、振り返りのある授業づくり ・教師一人一人の指導力向上を図るために、校内研修への全校体制での取組 ・教科担任特配を活用した教科担当制の効果的な実施 ・授業のねらいを達成するために1人1台端末の効果的な活用を目指した授業改善と単元計画での位置づけを図り、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。 ○家庭と連携した家庭学習習慣の確立と体験活動を活用した学習意欲の高揚 ・各種たよりや機会、授業の振り返りを活用し発達段階に応じた家庭学習や読書習慣の確立【家族で本を读みましょう】 ・体験活動を教室での学習と結び付けようとする態度の育成【沼田好き!ふるさと学習】 ○特別支援教育の充実 ・特別支援コーディネーターを核とした組織的な取組 ・個別の指導計画等の作成・活用と職員の連携を図った特別支援教育の充実 ・関係諸機関との積極的な連携 ②「思いやりのある子」の育成(学校評価：評価対象Ⅲ「豊かな心」) ○全教育活動における道徳教育の推進と特別活動の充実 ・「考え、議論する」道徳科の授業を要とした、教育活動全体を通して行う道徳教育の充実 ・生命の大切さを理解し、自他の命を尊重する心の育成 ・児童が主体的に活動できる場を設定し、自己肯定感や他を認める特別活動(学校行事、委員会・学級活動)の充実 ○積極的な生徒指導 ・児童の心に寄り添い、自己有用感や自己決定力を高める積極的な生徒指導の推進と組織的な対応 ・SNSルールを活用を中心とした情報モラル教育の充実と家庭への啓発【沼田SNSルール】 ・児童主体の「いじめ防止活動」の充実 ・いじめ防止基本方針を踏まえた適切・迅速な対応と報告・連絡・相談・記録の徹底 ③「からだをきたえる子」の育成(学校評価：評価対象Ⅳ「健康・体力」) ○運動の楽しさや喜びを味わえる「体力向上プラン」を基にした組織的、計画的な体力づくりの推進 ・新体力テスト等の結果を生かした発達段階に応じた教科体育の授業の工夫・改善 ・自らの健康維持・管理に取り組む自己管理意識の高揚 ○学校保健委員会の活動を核とした健康教育の推進 ・「むし歯ゼロ運動」を核とした健康教育の推進 ・手洗いや時と場に応じた正しいマスクの着用を基本とした感染症予防の推進 ○安全教育の充実(学校評価：評価対象Ⅴ「安全確保・施設設備」) ・通学路点検や地域と連携した交通指導による交通安全の徹底【セイフティ沼田】 ・避難訓練や交通安全教室等による日常生活における危険予測と危機回避能力の育成 ④地域と連携した信頼される学校づくり(学校評価：評価対象Ⅰ「保護者との連携」) ○地域を愛し、大切にする心の育成 ・地域の自然、歴史や文化・伝統等を活用した地域を愛し誇りに思う教育の推進 ・地域の行事や、ボランティア活動等に参加することを通じた郷土愛の育成 ○地域との協働体制作り ・全教育活動を通して、目的に応じた外部ボランティアの積極的活用【沼田好き!ふるさと学習】 ・地域の諸団体と連携を密にし、チーム学校としての協働意識の高揚【沼田好き!ふるさと学習】		
(4) 研修 計画	① 研修主題 「自分の考えをもち、表現できる児童の育成」 ～各教科における協働的な学びを充実させるための交流の場の工夫を通して～ ② 研修のねらい 各教科において、交流のめあてを明確にし、発達段階に応じた交流の場を工夫するなどの授業改善を図ることにより、自分の考えをもち、表現できる児童を育成する。		